

牛乳と同等のカルシウムを含む調製豆乳！
「^{プラス}豆乳+カルシウム」新発売！

キッコーマンソイフーズ株式会社は、9月23日に、「キッコーマン ^{プラス}豆乳+カルシウム」を全国で新発売します。



「豆乳+カルシウム」は、人気の「調製豆乳」にカルシウムを加えました。ほのかな甘さがあり、まろやかで飲みやすい「調製豆乳」そのままの味わいで、毎日の習慣としてお飲みいただくのにぴったりです。

日本人の1日あたりのカルシウムの平均摂取量は505mg（*1）と、摂取推奨量（*2）を下回っています。「豆乳+カルシウム」は、人気の「調製豆乳」そのままの味わいで、牛乳と同等のカルシウム量（*3）が含まれています。

当社の調査（*4）によると、「親が子どもにとって欲しい栄養素」としてカルシウムは1位でした。また、「親が子どもに飲ませたい飲み物」として、豆乳は牛乳に次いで2位でした。

いつも「調製豆乳」を飲んでいる方はもちろんのこと、カルシウムを積極的にとりたい方や、牛乳が苦手なお子様にもおすすめです。

キッコーマンは、これからも、さまざまなシーンで大豆の栄養がいつでも手軽にとれるよう、商品ラインアップを充実させ、健康的な食生活を応援してまいります。

- （*1）カルシウム摂取量の平均値 505mg（令和元年 国民健康・栄養調査）
（*2）カルシウムの成人1日あたりの摂取推奨量：男性 700～800mg、女性 600～650mg（日本人の食事摂取基準(2020年版)）
（*3）「豆乳+カルシウム」1本（200ml）あたり：カルシウム 262mg
牛乳100gあたり：カルシウム 110mg（日本食品標準成分表 2020 普通牛乳より）
（*4）2023年3月 キッコーマンソイフーズ調べ（n=412、調査対象：20～49歳 子どもを持つ女性、複数回答）
「親が子どもにとって欲しい栄養素」 1位：カルシウム 81% 2位：鉄分 79% 3位：ビタミン 75%
「親が子どもに飲ませたい飲み物」 1位：牛乳 74% 2位：豆乳 56% 3位：乳酸菌飲料 51%

記

1. 品名及び内容量・容器、価格 (単位:円 消費税別)

品名	内容量・容器	希望小売価格
		1本あたり
キッコーマン ^{プラス} 豆乳+カルシウム	200ml 紙パック	110

※上記の希望小売価格は、あくまで参考価格で、小売業の自主的な価格設定をなんら拘束するものではありません。

2. 発売日 2024年9月23日
3. 販売地域 全国
4. お客様お問合せ先 キッコーマンソイフーズ(株) お客様係 0120-1212-88

以上

【参考資料】

＜豆乳の区分について＞

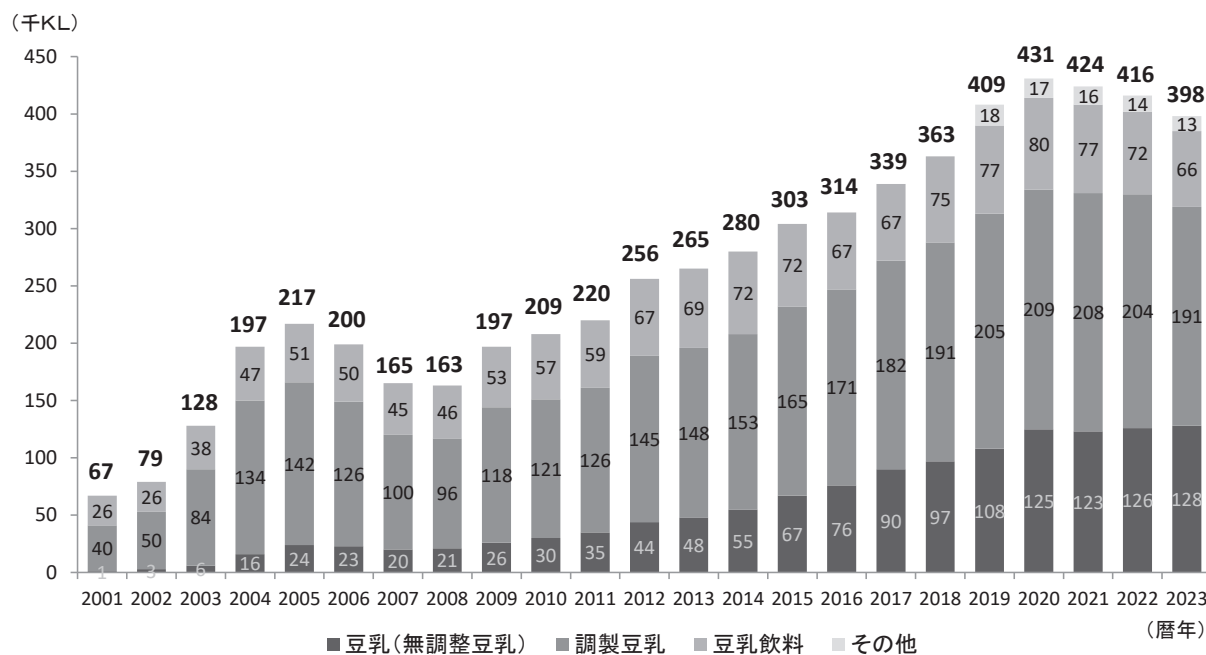
豆乳は豆乳類の日本農林規格（JAS 規格）により定義され、大きく「豆乳」、「調製豆乳」、「豆乳飲料」の3つに分けられます。

区分	規格	当社の主な商品
豆乳	大豆固形分 8%以上	おいしい無調整豆乳
調製豆乳	大豆固形分 6%以上	調製豆乳
豆乳飲料	(A) 果汁入り：大豆固形分 2%以上 (B) その他：大豆固形分 4%以上	(A) 豆乳飲料 フルーツミックス (B) 豆乳飲料 麦芽コーヒー

＜豆乳の生産量推移＞

2023 年の豆乳の国内生産量は、39.8 万 KL でした。
無調整豆乳の国内生産量は、過去最高の 12.8 万 KL でした。

■豆乳の国内生産量推移データ



※2019年より新たに「その他」として加工用を追加
出典：農林水産省（～2014年）、日本豆乳協会（2015年～）